フィルター気化式加湿器 家庭用

取扱説明書

品　番

CFK-VW500A
CFK-VW700A

<保証書付>
裏表紙に付いています。

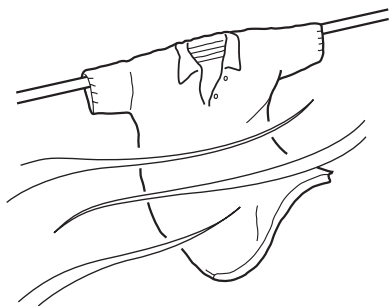
もくじ

このたびは、お買いあげいただき、ありがとうございました。
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みのうえ、正しくお使いください。
裏表紙の保証書は「お買いあげ日・販売店名」などの記入をご確認のうえ、販売店からお受け取りください。
お読みになった後は、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

上手に使って上手に節電

特　長

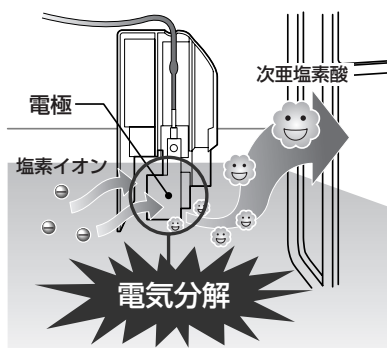
安全

吹き出し口が熱くない

ヒーターレスファン加湿方式

ヒーターレスファン加湿方式は、洗濯物を自然の風で乾かすように、水を含んだ加湿フィルターに風をあてて気化させる方式です。
蒸気を出さないため、吹き出し口は熱くなりません。何でも触りたい好奇心いっぱいの赤ちゃんや、お子様の部屋にもおすすめできます。
また、必要なときに必要なだけ加湿をするので、加湿過多による結露も抑えます。

清潔

水も空気も除菌※1※2する

電解水除菌システム※3搭載

電解水技術で、水道水の塩素イオンからつくり出した『次亜塩素酸』が、加湿トレイの水をしっかり除菌※1。雑菌の繁殖やイヤな臭いを抑えます。運転停止中でも、電源が入っていれば一日中効果は持続します。
また、運転中には加湿フィルターに吸い上げられる『次亜塩素酸』によって、加湿空気に含まれる浮遊菌※2や浮遊ウィルス※4を抑制するので、加湿空気がいつも清潔です。

※1.水の除菌＿公的試験機関：（財）日本食品分析センター／試験方法：寒天平板培養法／除菌の方法：電気分解
※2.空気の除菌＿公的試験機関：（財）北里環境科学センター／試験方法：1m³の試験BOX内に菌を浮遊させ機器を動作後、一定時間後の浮遊菌数を測定。
※3.水道水の塩素イオンを利用し、電気分解することで生成される次亜塩素酸で除菌するシステム
※4.公的試験機関：（財）北里環境科学センター／試験方法：1m³の試験BOX内にウィルスを浮遊させ機器を動作後、一定時間後の浮遊ウィルス数を測定。

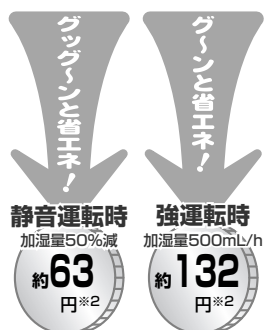
『アレルブロックフィルター』で加湿フィルターにあてる風も清潔

エアフィルターでしっかりキャッチして、ほこり･ダニのフンや死骸･ウィルスを抑制※5。
さらに脱臭※6効果もあります。

※5.公的試験機関：大阪府立公衆衛生研究所／試験方法：ウィルス不活化試験
※6.公的試験機関：（財）日本紡績検査協会／試験方法：アンモニア、酢酸、ホルムアルデヒドによる検知管法

経済性

一日中、気軽に使える

■1日8時間運転の場合の1カ月当たりの電気代

ヒーターレスファン加湿方式ならスチーム方式に比べシーズン中（6カ月）使用した場合
約 12,110 円もおトク

気化式・省エネ設計

ヒーターレスファン加湿方式は、ファンを回すだけ。蒸気をつくるための電力が必要ないため、余分な電気を使わずとても経済的。家計にもやさしい加湿器です。

※1.CFK-VW500Aと弊社同等機種スチーム方式（CFK-HG50A、加湿量500mL/h、消費電力407W）、電気代22円/kWh（税込）、1日8時間強運転（50Hz）の場合。
※2.電気代22円/kWh（税込）、1日8時間運転（50Hz）の場合。60Hzは同条件で強運転時148円、静音運転時69円。

安全のため必ずお守りください

正しく安全に使用していただくための重要な項目ですので必ずお読みください。

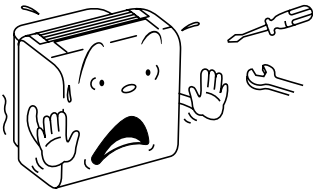
●ここに示した事項は、安全に関する重大な内容の記載です。表示と意味は次のようになっています。

⚠ **警告**	誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
⚠ **注意**	誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

	禁止		必ず実施
	分解禁止		電源プラグを抜く
	ぬれ手禁止		感電に注意 （本体に表示）
	水ぬれ禁止		

⚠ 警告

分解修理・改造の禁止

分解禁止

分解修理･改造はしないでください。

火災・感電・けがの原因となります。
修理は、お買いあげの販売店、またはもよりの「お客さまご相談窓口」（別紙）にご相談ください。

水をかけない

水ぬれ禁止

本体を水につけたり、本体に水をかけたりしないでください。

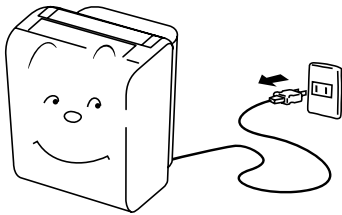
ショート・感電のおそれがあります。

異物を入れない

禁　止

吹出口や吸込グリル（吸気口）にピンや針金などの金属や異物を入れないでください。

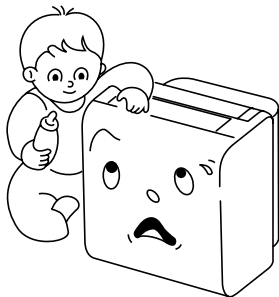
感電や異常動作でけがをすることがあります。

お手入れのときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

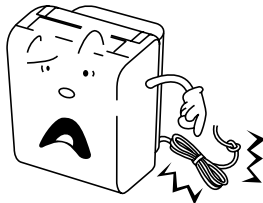
お手入れのときは、必ず電源プラグを抜いてください。

感電・けがの原因になります。

幼児の手の届く範囲では使用しない

禁　止

感電やけがをすることがあります。

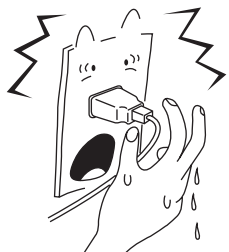
電源コードをいためない

禁　止

電源コードを傷つける、破損する、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじることなどはしないでください。

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

⚠警告

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

交流100V以外での使用やタコ足配線をしない

禁　止

火災・感電・故障の原因になります。

タンク、本体のお手入れには塩素系、酸性タイプの洗浄剤は使用しない

禁　止

変形や変色することがあります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

実　施

差し込みが不完全だったり、いたんだプラグ、ゆるんだコンセントを使用しないでください。

感電や発熱による火災の原因になります。

電源プラグのほこりを取る

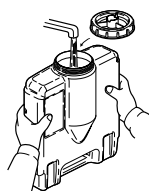
実　施

定期的に電源プラグのほこりを取ってください。

ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

⚠注意

タンクの水は毎日新しい水と入れ替える

実　施

タンクは毎日振り洗いをし、常に清潔にし、必ず水道水を入れてください。

お手入れせずに使い続けると、カビや雑菌が繁殖し悪臭の原因になります。

運転中はお手入れをしない

禁　止

運転中は、お手入れをしないでください。

感電やけがの原因になります。

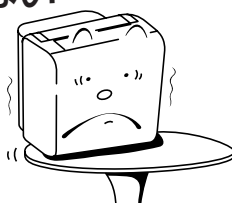
吹出口をふさがない

禁　止

吹出口をカーテンやタオルなどでふさがないでください。

故障の原因になります。

不安定なところに置かない

禁　止

不安定なところ、水平でないところには置かないでください。

倒れると水がこぼれます。

電気製品の上に置かない

禁　止

暖房機やテレビなどの電気製品の上に置かないでください。

転倒して水がこぼれたり、水もれすると感電・故障の原因になります。

お手入れ後は部品を確実に取りつける

実　施

加湿フィルター、前パネル、吸込グリルなどの部品をはずしたまま使用しないでください。

故障の原因になります。

電源プラグを持って抜き差しをする

実　施

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。

感電・ショート・発火の原因になります。

長期間使わないときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

長期間使わないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。

けが・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

お願い

必ず水道水（飲用）を使用

浄水器の水、温水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などは絶対に使わないでください。

除菌ができなくなるため、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。

持ち運びはタンクを抜き必ずハンドルを持って行う

タンクを抜いてゆすらないように持ち運んでください。

タンクに水が入ったまま持ち運ぶと本体が傾き水がこぼれる原因になります。

壁や家具に風を直接あてない

加湿器の風が、壁や家具に直接あたらないようにしてください。

壁・家具がいたんだり、しみの原因になります。

お手入れは定期的に行う

「お手入れのしかた」にしたがってお手入れをしてください。

汚れがひどくなると、カビの発生、悪臭、加湿量の低下の原因になります。

凍結に注意

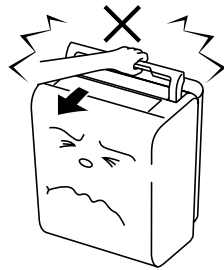
凍結のおそれのあるときは、タンクと本体内の水を捨ててください。

凍結しますと、故障の原因になります。

お部屋の加湿以外には使用しない

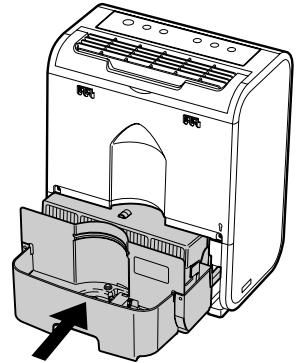
この製品は一般家庭用のフィルター気化式加湿器です。美術品や学術資料などの保存、業務用などの特殊用途には使用しないでください。

保存品の品質低下の原因になります。

ハンドルを手前に倒さない

ハンドルは手前に倒れない構造になっています。無理に倒そうとすると、ハンドルが破損します。

ハンドルで指をはさまない

ハンドルを動かすとき、本体との間に指をはさまないように注意してください。また、ハンドルははずさないでください。

加湿トレイをしっかり戻す

加湿トレイ内の水を捨てた後は、加湿トレイをしっかりと本体に戻してください。

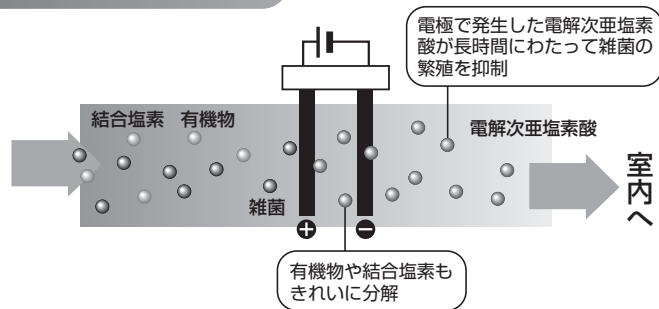
知っておいていただきたいこと

必ず水道水（飲用）をご使用ください

浄水器の水、温水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水などは絶対に使わないでください。
除菌ができなくなるため、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。
温水（40℃以上）、化学薬品、汚れた水、芳香剤や洗剤を含んだ水なども絶対に使わないでください。
除菌ができなくなったり、本体の変形や故障の原因になります。

電解水除菌システムで清潔加湿

水道水の**塩素イオン**を利用した電気分解で生成する次亜塩素酸により除菌するシステムです。ただし、水道水中の塩素イオン濃度が低い場合は除菌効果が弱くなるので、使用環境によりカビや悪臭が発生する場合があります。
その場合はお手入れをこまめに行ってください。

コンセントからの通電だけで除菌効果があります。
防カビ素材を採用した加湿フィルターとともに
清潔な加湿※を実現しました。※加湿フィルター等のお手入れは必要になります。

運転中以外のときでも、タンクに水が入っている場合は、**電源プラグを抜かないでください。電解水除菌システム**が働かないため、カビや雑菌が繁殖し悪臭の原因になります。また、お手入れの時期を正しくお知らせすることができません。

次のような場所では使用しないでください

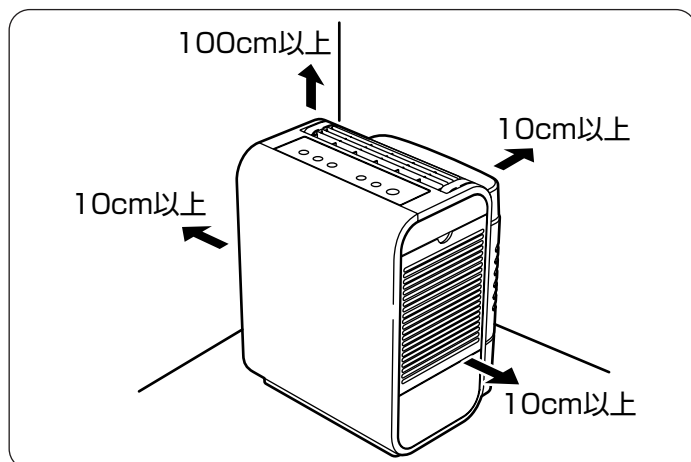
窓際など外気の影響を受けやすい場所、エアコンなどの風が直接あたる場所
お部屋の湿度が正しく表示できなくなります。

直射日光があたる場所、暖房機のそば
本体などが変形・変色する原因になります。
また、温度が上がるため、カビが繁殖しやすくなります。

カーテンの近くやじゅうたん・ふとんの上
吹出口や吸込グリルがふさがれ故障の原因になります。

高いところ、傾いた場所、不安定な場所
地震や、人が触れて落下したり、転倒する原因になります。
傾いた場所に設置すると、フロートが作動して運転が停止する場合があります。

スピーカーや電磁調理器の近くなど、磁気の多いところ
フロートが誤動作し、給水を正しくお知らせできない場合があります。

加湿器の周囲は右図に示す距離をとってください。

気化式について

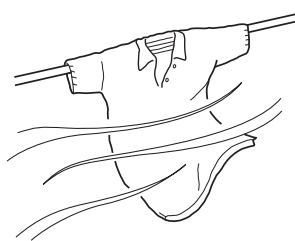
湯気（蒸気）は見えません

水を沸騰させない気化式なので湯気（蒸気）は見えません。

吹出口から出る風は暖かくありません

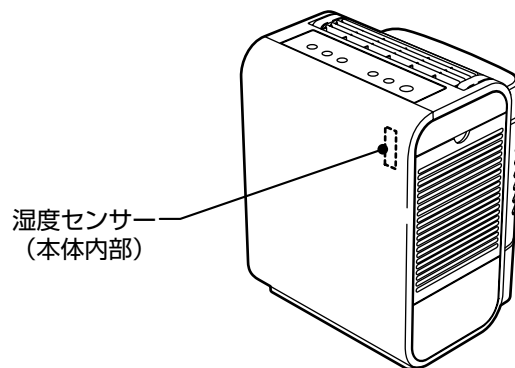
気化するときに、吸い込んだ空気の熱を奪うため、吹き出す風は暖かくありません。お部屋の広さによっては寒く感じることがあります。

湿度や温度の条件によって加湿量が変わります

室内の湿度が高い場合や温度が低い場合には連続運転でも加湿量が少なくなることがあります。

洗濯物が乾くとき、水分が気体になって放出される状態と同じ原理が **気化式** です。
水を沸騰させていないので本体も吹出口も熱くなりません。

現在湿度表示について（湿度表示はめやすとしてお使いください）

現在湿度表示は、本体内部にある湿度センサーで測った湿度の状態を表示しています。

- 同じ室内でも温度差や気流などのため、場所によって湿度が異なる場合があります。
- 運転開始直後は、本体内部の温度や湿度の影響を受けるため、現在湿度表示が安定するまで、約10～15分かかります。
- お手持ちの湿度計と表示が異なる場合があります。

湿度について

お部屋の湿度が上がりにくいとき

- お部屋が広すぎませんか。　⇒　適用床面積をめやすとして使用してください。☞ P18
- エアフィルターがほこりで目詰まりしていませんか。　⇒　エアフィルターをお手入れしてください。☞ P13
- 加湿フィルターに、水あかやごみが付着していませんか。　⇒　加湿フィルターをお手入れしてください。☞ P14～15

適用床面積の範囲で使用していても、お部屋の湿度が上がりにくいとき

- 換気の度合、外気の乾燥の程度、床や壁の材質によっては、適用床面積の範囲で使用していても、湿度が上がりにくいことがあります。

各部のなまえ

＜本体＞

吹出口

ハンドル

操作部・表示部

エアフィルター
（ほこりの除去）
☞ P13

前パネル

吸込グリル
（吸気口）

バンド取付穴

バンド
（電源コード用）

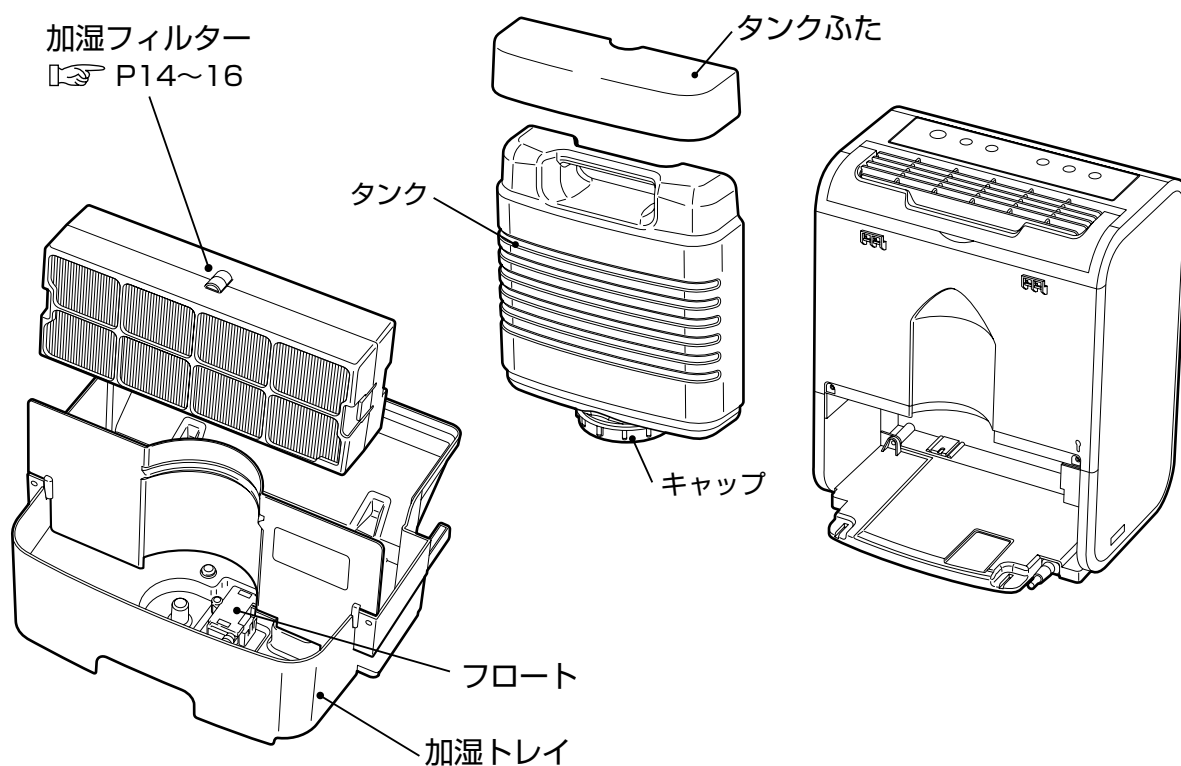
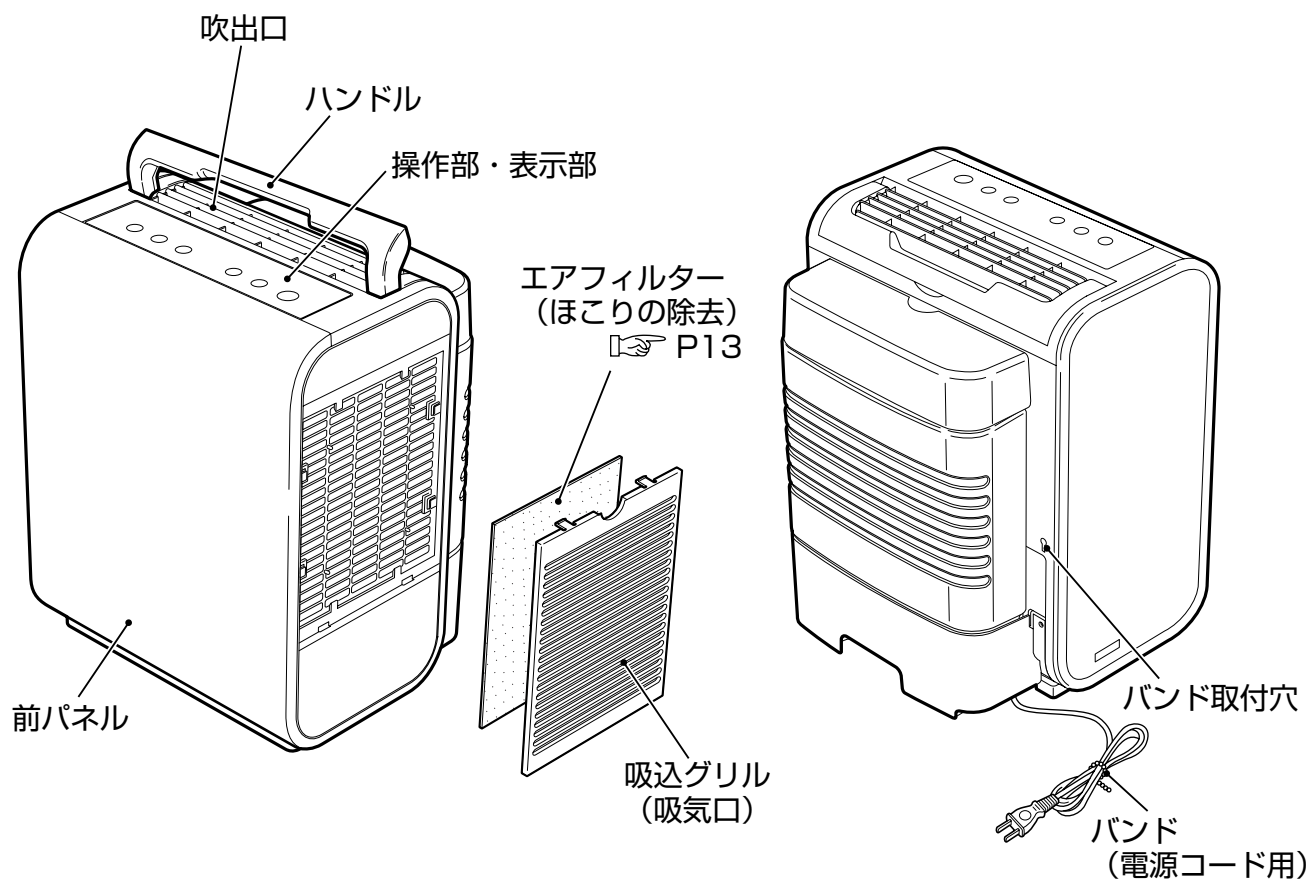
加湿フィルター
☞ P14～16

タンクふた

タンク

キャップ

フロート

加湿トレイ

＜操作部・表示部＞ ※図は説明のため全部「点灯・表示」した状態です。

お手入れランプ ☞ P14～15
・加湿フィルターのお手入れ時期が来ると点滅します。

チャイルドロックスイッチ ☞P11
・チャイルドロックの『入』『切』を行います。
・約3秒間押し続けると、チャイルドロックのセット、解除ができます。

運転ランプ ☞ P10
・運転状態をお知らせします。

給水（点滅）ランプ ☞ P12
・タンクの水がなくなったことをお知らせします。

運転スイッチ ☞ P10
・運転の『入』『切』を行います。

デジタル表示部
・現在の湿度（%）の状態を表示します。

切タイマースイッチ ☞ P11
・切タイマー時間を設定します。
→2Hタイマー → 4Hタイマー → 解除

パワーウォッシュスイッチ ☞P11
・パワーウォッシュ運転の『入』『切』を行います。

運転切換スイッチ ☞P10
→おまかせ→しっとり→おやすみ→静音→強

お手入れランプリセットスイッチ ☞ P14
・お手入れランプ点滅中に、約3秒間押し続けると、消灯します。
※お手入れを行ってから、お手入れランプを消灯してください。

デジタル表示例

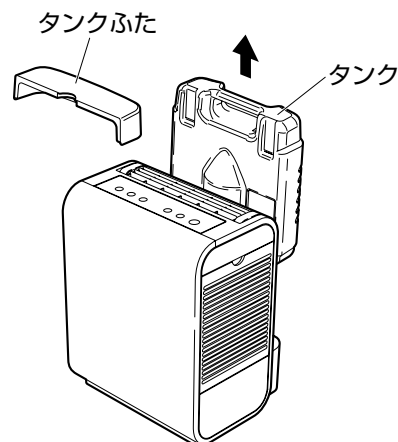
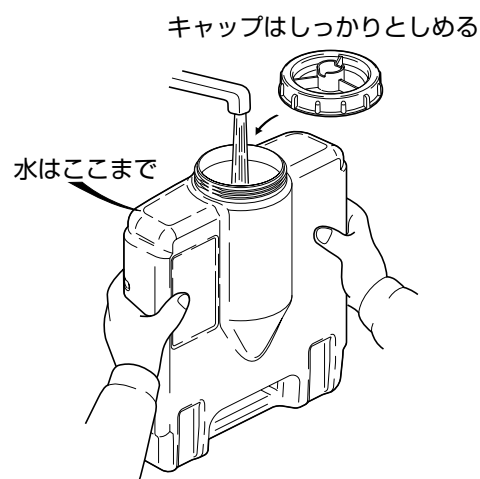
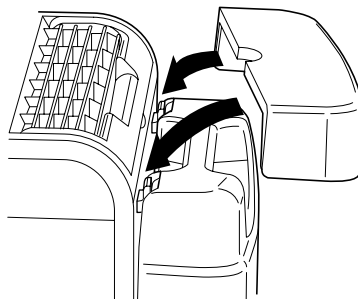
現在湿度

● 現在湿度55%を表示しています。湿度は30～80%まで5%刻みで表示します。湿度表示はめやすとしてお使いください。

使う前の準備

1 本体を固定している輸送用テープをはずす。

2 タンクへの給水

①タンクふたを外し、タンクを取り出す。
②タンクに水道水（飲用）を入れる。
☞ P5：『必ず水道水（飲用）をご使用ください』をお読みください。
③キャップをしっかりとしめて、本体にセットし、タンクふたをかぶせてください。

※ふたは本体の爪に引っかかるようにしっかりとかぶせてください。
タンクがはずれる原因になります。

- キャップは確実にしめ、水がもれていないことを確認してください。
- 水が入ったタンクを本体にセットするときは、静かにセットしてください。
  本体が破損し、水もれの原因になります。また、タンクふたが破損する原因になります。
- タンクには約5リットルの水が入ります。

⚠注意 タンクの水は毎日新しい水道水と入れ替え、常に清潔にしてお使いください。

- そのまま使い続けると、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。

3 電源プラグをコンセントに差し込む（交流100Vのコンセントを使用）

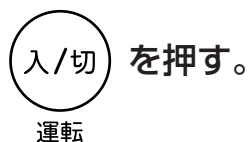
- 通電後、しばらくすると除菌を開始します。（通電中は定期的に除菌を行います）
- 初めて使用するときや、加湿フィルターを交換したときなど、加湿フィルターが乾燥した状態から運転を開始する場合は、給水後 10分 以上待ってから運転スイッチを押してください。

お願い！

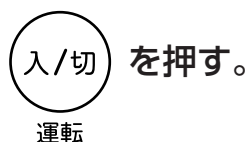
- 2シーズン目以降、初めてお使いになるときは、必ず本体や各部の点検をしてください。汚れ等が目立つときは、『お手入れのしかた』にしたがってお手入れをしてからお使いください。☞ P13～15

使いかた

運転する

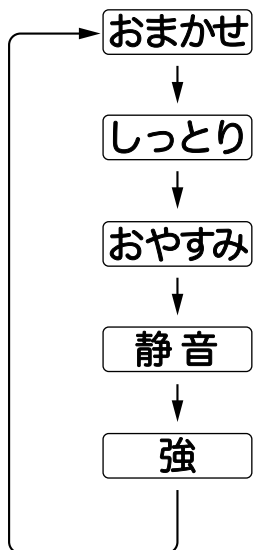
を押す。

- いずれかの運転ランプが点灯します。
- 同時にデジタル表示部が点灯し、「5」「4」「3」「2」「1」と表示してから現在湿度（%）を表示します。

運転を止める

を押す。

- デジタル表示部および運転ランプが消灯します。

運転を切換える

を押す。

押すごとに

となります。

おまかせ

設定湿度50～55%で自動運転します。
おまかせ ランプが点灯します。
現在湿度が60%を超えると、加湿を一時停止します。

しっとり

設定湿度60～65%で自動運転します。
しっとり ランプが点灯します。
現在湿度が70%を超えると、加湿を一時停止します。

おやすみ

設定湿度50～55%で自動運転します。
風量をおさえて静かな運転をします。
おやすみ ランプが点灯します。
現在湿度が60%を超えると、加湿を一時停止します。
現在湿度および全てのランプは暗めの設定となります。
おやすみ運転中にタンクの水がなくなると おやすみ ランプだけ点滅します。（メロディは鳴りません）

静 音

湿度に関係なく『弱』で連続運転します。
静 音 ランプが点灯します。

強

湿度に関係なく『強』で連続運転します。
強 ランプが点灯します。

- 運転切換スイッチは、 おまかせ に初期設定されています。
- 静 音 、 強 は現在湿度が80%を超えると加湿を一時停止します。
- 電源プラグを抜くと、運転切換などの設定は、全て初期設定に戻ります。

使いかた

切タイマー運転

2時間後または4時間後に運転を停止します。

1 運転中に

を押す。

切タイマー

- 切タイマーランプの 2 H または 4 H が点灯します。
- 現在湿度および全てのランプは暗めの設定となります。
- 切タイマー運転中にタンクの水がなくなると おやすみ ランプだけが点滅します。（メロディは鳴りません）

切タイマー を押すごとに 2時間 → 4時間 → 解除 の順に切タイマー時間の設定が変わります。

2 解除するときは

を1～2回押す。

切タイマー

- 切タイマーランプの 2 H および 4 H の両方が消灯します。

チャイルドロック

1

を約3秒間押す。

チャイルドロック
（3秒押し）

- チャイルドロックランプが点灯します。
- チャイルドロックをセットするとすべての操作ができません。

2 解除するときは、再度

を約3秒間押す。

チャイルドロック
（3秒押し）

- チャイルドロックランプが消灯します。

パワーウォッシュ運転

除菌効果を高めた運転を行います。

1 運転中に

を押す。

パワーウォッシュ

- パワーウォッシュランプが点灯します。
- 運転ランプが消灯します。

2 解除するときは、再度

を押す。

パワーウォッシュ

- パワーウォッシュランプが消灯します。
- 運転ランプが点灯します。

- パワーウォッシュ運転は20分で終了し、もとの運転モードに戻ります。（パワーウォッシュランプが消灯し運転ランプが点灯します）

タンクの水がなくなると

タンクの水がなくなると、自動的に運転を停止し、給水ランプ**（全てが点滅）とメロディ**でお知らせします。

タンクに水道水を給水し、本体にセットしてください。自動的に運転を再開します。

次の場合は『おやすみ』ランプのみの点滅となります。

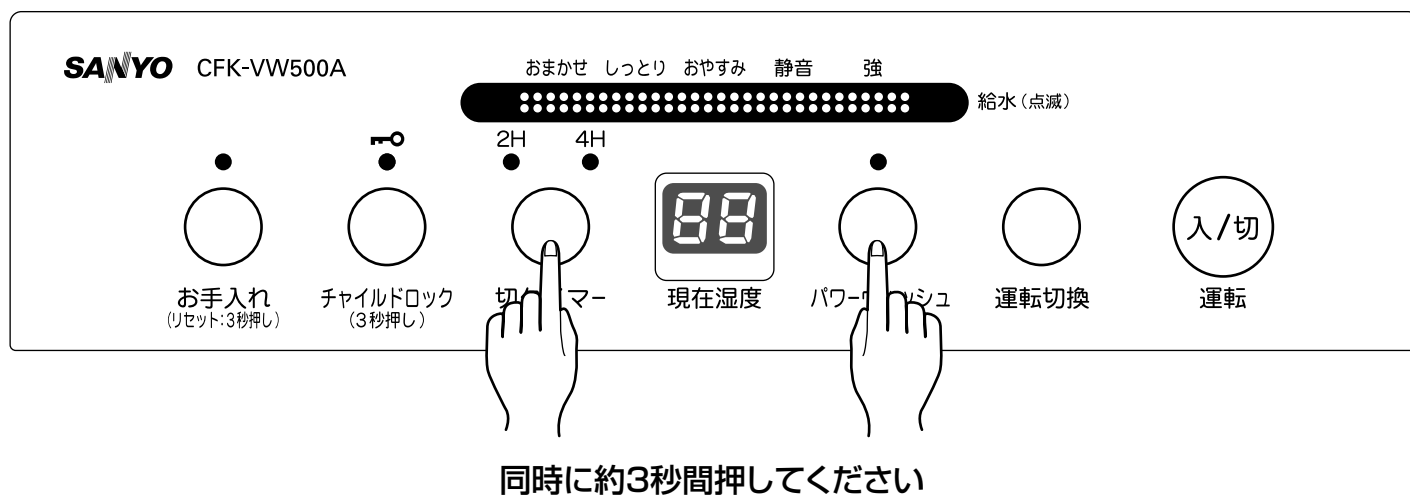
1. 切タイマー運転中のとき（メロディは鳴りません）
   ☞ P11
2. おやすみ運転中のとき（メロディは鳴りません）
   ☞ P10
3. ランプの明るさを暗めの設定にしたとき
   ☞ P12

ランプの明るさと設定について

デジタル表示部（現在湿度）および全てのランプの明るさは、暗めの設定に変更することができます。
『切タイマースイッチ』と**『運転切換スイッチ』**を同時に約3秒間押してください。
なお、この設定は電源プラグを抜いても解除されません。解除するときは、再度同じ操作をしてください。

メロディの消しかた

タンクの水がなくなった時にお知らせするメロディは消すことができます。
運転停止中に切タイマースイッチとパワーウォッシュスイッチを同時に約3秒間押してください。（メロディが鳴らなくなります）
メロディを鳴らしたいときは再度同じ操作をしてください。（メロディが鳴ります）

同時に約3秒間押してください

お知らせ

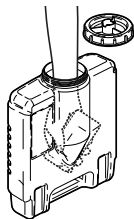
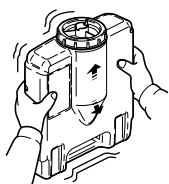
- 給水のメロディは、約6秒間流れます。途中でメロディを止めたいときは、運転スイッチを押してください。（この時、給水ランプも消えます）
- **給水ランプが点滅した場合、除菌ができなくなりますので、時間をおかずに水道水を給水してください。**
- 運転中以外のときでも、タンクに水が入っている場合は**電源プラグを抜かないでください。**
  電解水除菌システムが働かないため、カビや雑菌が繁殖して悪臭の原因になります。
  また、お手入れの時期を正しくお知らせすることができません。

お手入れのしかた

お手入れは定期的に行ってください。汚れがひどくなると加湿量の低下や故障・悪臭の原因になります。

⚠警告 お手入れのときは電源プラグを抜く
タンク、本体のお手入れには塩素系、酸性タイプの洗浄剤は使用しない

タンクのお手入れ（毎日）

少量の水を入れ、キャップをしめて振り洗いをし、常に清潔にしてください。
給水は必ず水道水（飲用）を使用してください。

汚れがひどい場合はタンクの中を直接洗うこともできます。
※ネジの端面などで手をケガしないようゴム手袋の着用をお勧めします。

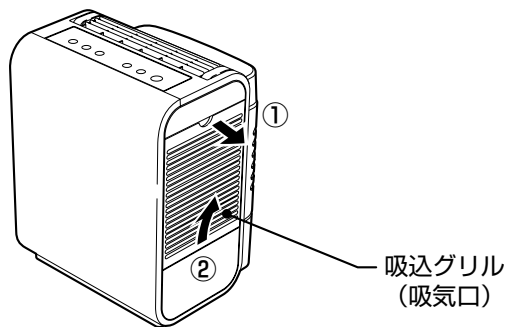
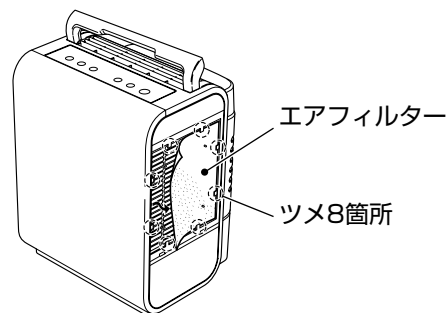
本体のお手入れ（汚れたら）

- 水に浸した柔らかい布で拭いてください。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水で薄めた中性洗剤に浸し、固くしぼってから汚れを拭きとった後、水ぶきをしてください。

お願い！

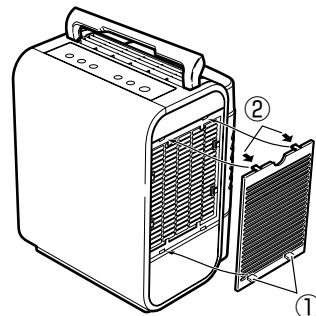
- 変形、変色防止のため、ベンジン、シンナー、アルカリ洗剤、クレンザーなどは使用しないでください。
  また、化学ぞうきんを使用するときは、その注意書きにしたがってください。

エアフィルターのお手入れ（1週間に1～2回）

1 吸込グリルの上下を①、②の順で手前に引いてはずす。

2 本体吸込グリルのツメからエアフィルターをはずす。

3 掃除機でほこりを取り除く。
エアフィルターを吸い込まないように注意してください。

※使い続けるうちに変色することがありますが、使用上の不具合はありません。
※水洗いはしないでください。縮んだり、やぶけたりする場合があります。

4 エアフィルターを元に戻し吸込グリルを取り付ける。

①下側のツメ2箇所を先に差し込む
②上側のツメ2箇所を押し込む

お願い！

- エアフィルターの汚れがひどくなると加湿量が少なくなったり、正しく湿度表示ができなくなります。
  1週間に1～2回は必ずお手入れをしてください。
- エアフィルターをはずしたまま使用しないでください。故障の原因になります。

お手入れランプが点滅したら（2週間に1回程度）

電源プラグを差し込んでから、およそ2週間経過するとお手入れランプが点滅して、加湿フィルターと加湿トレイのお手入れ時期をお知らせします。
※お手入れランプが点滅しても運転は停止しません。

1 電源プラグを抜く
電源コードを束ねて、付属のバンドで固定してください。

2 加湿フィルターを取り出す
※加湿フィルターは多量の水分を含んでいますので水がたれないようにご注意ください。

3 加湿フィルターをお手入れする
☞ P15

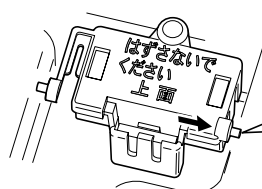
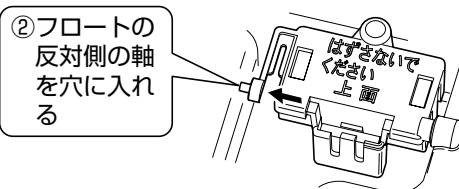
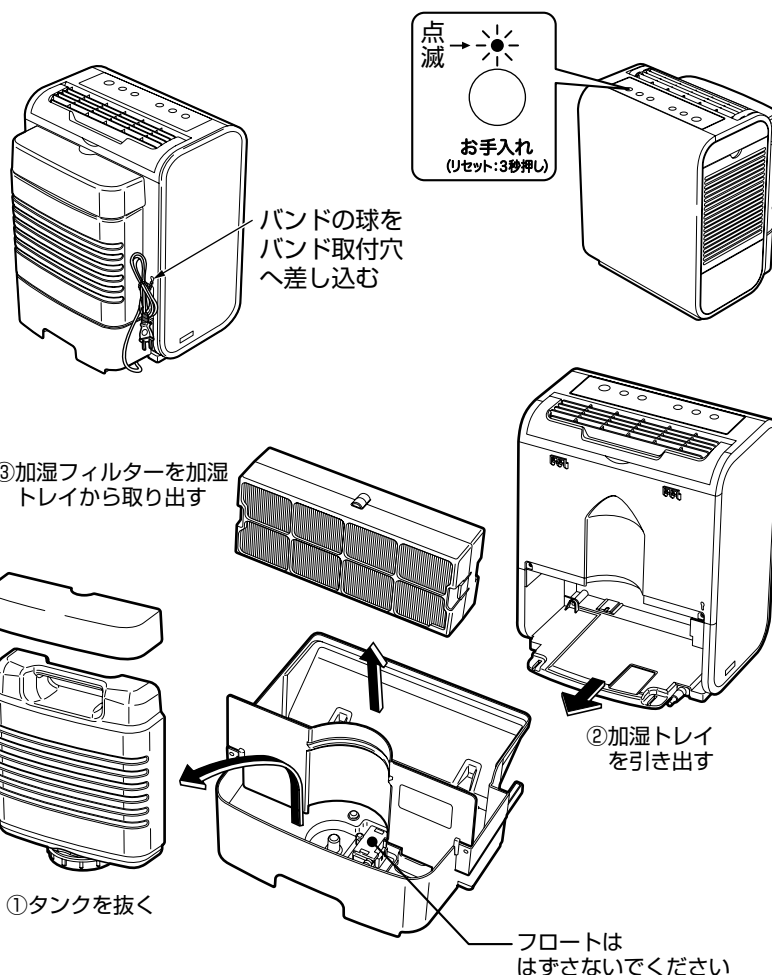
4 加湿トレイに残った水を排水する

5 加湿トレイをお手入れする
水に浸した柔らかい布で水あか等の汚れを取り除いてください。

6 部品を元どおりセットする
お手入れが終わったら部品を元どおりにセットし、電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。

7 お手入れランプをリセットする
お手入れスイッチを約3秒間押してください。お手入れランプが消灯します。

フロートがはずれたとき

㊀㊁㊂㊃

お知らせ

- 使い続けるうちに加湿フィルターが変色しますが、これは水道水中の不純物（鉄・カルシウム・マグネシウム等）や空気中のほこり等によるものですので、使用上の不具合はありません。
- 加湿フィルターの汚れ具合は、水質等の違いや地域によって異なります。また、使用頻度によっても異なりますので、お手入れランプはめやすとしてご利用ください。
- 加湿フィルターにほこりが多く付着すると、カビが発生しやすくなります。こまめに洗浄し、汚れがひどい場合は別売品の交換用加湿フィルターと交換してください。

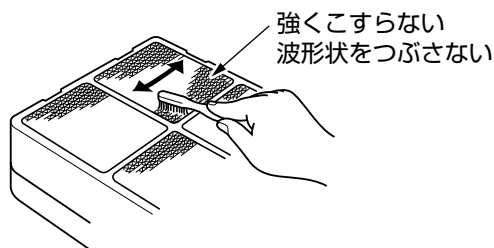
お手入れのしかた

加湿フィルターのお手入れ

通常のお手入れ

加湿フィルターを水洗いしてください。

① 加湿フィルターをケースごと容器の中ですすぎ洗いしてください。

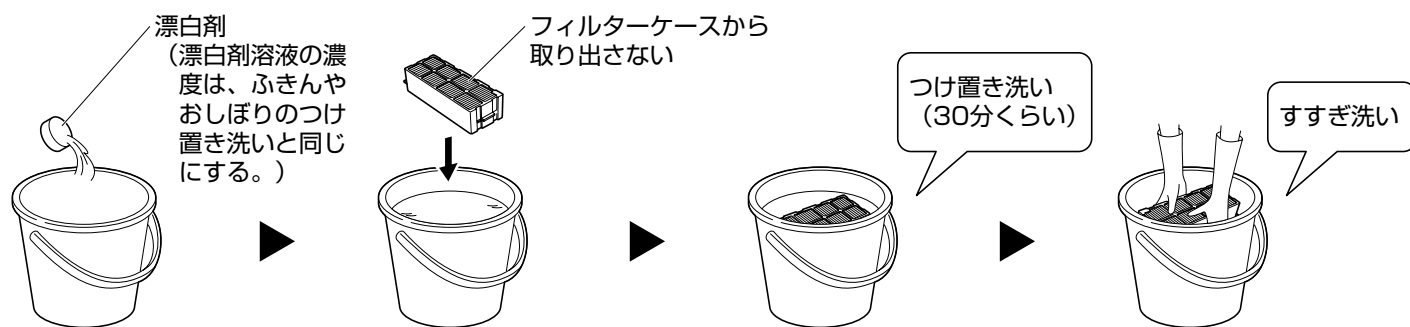
② 加湿フィルターの表面についた水あかを歯ブラシ等で**軽く**こすり落としてください。

③ ①→②の手順を3～4回くり返してください。

④ 最後に再び水ですすいでください。

汚れがひどい場合のお手入れ

加湿フィルターを市販の塩素系台所用漂白剤で、つけ置き洗いしてください。

① 加湿フィルターをケースごと①の漂白剤溶液に30分くらい浸してください。

② つけ置き後は漂白剤溶液分が残らないように水で充分にすすいでください。

※ 台所用漂白剤でつけ置き洗いをしても、水道水中の不純物（鉄・カルシウム・マグネシウム等）による加湿フィルターの変色や硬化は元には戻りません。

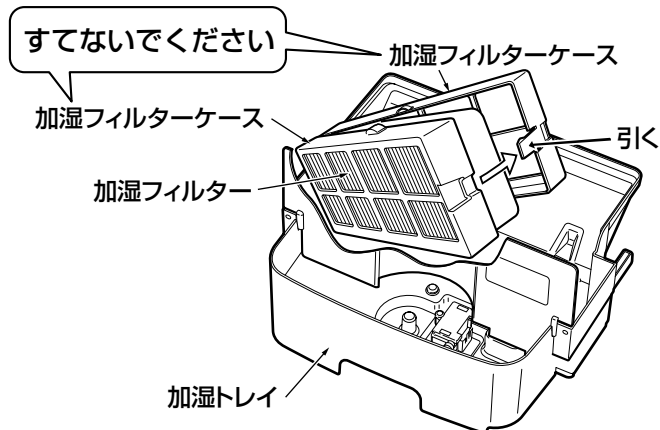
お知らせ

● 加湿フィルターの洗浄には、絶対に塩素系台所用漂白剤以外の洗剤やクエン酸を使わないでください。
除菌の効果がなくなります。また、異なる種類の漂白剤は混ぜないでください。

加湿フィルターの交換のしかた

- 交換時期のめやすは、約12カ月（1日8時間運転の場合）です。
- 使用条件（水質や使用時間など）によって交換時期は異なります。
- 次のような状態になったときは、交換してください。
  - お手入れをしても、においや水あかが取れないとき。
  - 傷みや型くずれがひどいとき。
- 中身の加湿フィルターのみを交換し、加湿フィルターケースは続けてお使いください。
- 加湿フィルターは多量の水分を含んでいます。取り出すときは、水がたれますので加湿トレイまたは容器の中で作業をしてください。

加湿フィルターの交換

1. 14ページの『お手入れランプが点滅したら』を参照し、加湿フィルターを取り出します。
2. 右図加湿フィルターケースの矢印部ツメをはずし、加湿フィルターケースをはずしてください。
※ケースは前後共通です。
3. 中身の加湿フィルターを取り出します。
4. 別売品の加湿フィルターを袋から出して片方の加湿フィルターケースに収めます。
※別売品の加湿フィルターは、周囲のテープをはずさないでそのままご使用ください。
5. もう片方の加湿フィルターケースを取り付けます。
6. 加湿トレイに残った水を排水します。
7. 加湿フィルターケースを元どおりに、加湿トレイの中へセットします。

お願い！

- 使用済みの加湿フィルターは、水分をよくしぼってから不燃ゴミとして捨ててください。

交換用加湿フィルター

機 種 名	品　番	価格（税込）
CFK-VW500A	CFK-F50A	2,520円
CFK-VW700A	CFK-F70A	2,940円

2007年9月現在の価格です。

加湿フィルターは別売品となっております。
お買いあげの販売店でご購入ください。

保　管（長期間使用しないとき）

1. 電源プラグを抜く

2. お手入れをする

- 13～15ページの『お手入れのしかた』にしたがって、掃除をした後、**各部の水気をよく拭き取り、じゅうぶん乾燥させてください。**

※湿ったまま保管するとカビの原因になります。特に加湿フィルターは、水をよく切った上で下記3.の『フィルター乾燥運転』を行い、**じゅうぶんに乾燥させてください。**

3. フィルター乾燥運転を行う

- タンク、および加湿トレイの水をすててください。
- 電源プラグを入れてください。
- 水をよく切った加湿フィルターをトレイに戻し、本体にセットします。
- 切タイマースイッチを3秒間押しますと、2Hランプと4Hランプが交互に点灯し、フィルター乾燥運転に入ります。
  ※フィルター乾燥運転は、2時間で自動的に終了します。
- 電源プラグを抜いてください。

4. 湿気の少ないところに保管する

- 加湿器の入っていた箱に入れるか、ポリ袋に入れて湿気の少ないところに保管してください。

お願い！

- フィルター乾燥運転をしても加湿フィルターの乾燥が不十分なときはもう一度フィルター乾燥運転をしてください。

故障かな？と思ったら

⚠警告 分解修理・改造の禁止

● 分解修理・改造はしないでください。
火災・感電・けがの原因になります。

エラーのお知らせ（デジタル表示とブザーでお知らせします。）

エラー表示	原　因	処　置　方　法
HO	水道水以外の水が給水された	除菌ができなくなるためタンクと加湿トレイの水を捨て、水道水を入れてから、運転スイッチを入れなおしてください。 ☞P10
	フロートが引っ掛かっている	フロートの周りのゴミを取り除いてから、運転スイッチを入れなおしてください。
	器具の故障	この処置をしても正常に戻らないときは運転スイッチを切り、電源コードを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。
HA HC Hd HH HL A8 H1 HE E5	器具の故障	運転スイッチを切り、電源コードを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

お知らせ

エラーHO・HA・HC・Hd・HEの場合は、修理にお出しいただくまでの間の応急措置として、次の方法で、運転をすることができます。

運転のしかた
①電源プラグをコンセントから一度抜いてから、再度差し込んでください。
② 入/切（運転）を押してください。器具が運転を始めます。

運転の制約について
①強と静音運転しかできません。
②現在湿度が80%を越えても、運転を一時停止しません。

停止のしかた
① 入/切（運転）を押してください。器具が運転を停止します。
②運転を開始して6時間が経過した時やタンクの水がなくなった時は、器具が自動的に停止します。
停止後、再運転する時は、再度電源プラグを抜き差ししてください。

次の状態は故障ではありません

分解修理を依頼される前に、次のことをもう一度お調べください。それでもなおらない場合は、電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店または、もよりの「お客さまご相談窓口」（別紙）へご連絡ください。

症　状	原　因	処　置　方　法
運転スイッチを入れてもすべてのランプが点灯しない	電源プラグがコンセントからはずれていませんか	電源プラグを根元まで確実に差し込み、運転スイッチを入れてください。 ☞P10
給水ランプが点滅している	タンクに水が入っていない	タンクに水道水を入れてください。 ☞P11
タンクに水が入っているのに給水ランプが点滅している	加湿トレイが確実にセットされていますか	加湿トレイを確実にセットしてください。 ☞P14
	フロートが引っ掛かっていませんか	フロートの周りのごみを取り除いてください。 ☞P14
	本体が傾いていませんか	水平で安定したところに設置してください。
吹出口からの送風がにおう	古い水を使用していませんか	「お手入れのしかた」にしたがって、器具の掃除をし、新しい水道水と入れ替えてください。 ☞P13〜15
	加湿フィルターや加湿トレイに水あかやごみがたまっていませんか	
現在湿度が表示し、運転が停止している	部屋の湿度が高くなりすぎたためです。	湿度が下がると、自動的に運転を再開します。
塩素の臭いがする	電解水除菌システムによるものです。	故障ではありませんのでそのままご使用してください。
現在湿度表示が他の湿度計の値と違う	エアフィルターにゴミがたまっていませんか	エアフィルターを掃除してください。 また、同じ部屋でも場所によって湿度は異なるため、差が出る場合があります。 ☞P13
	運転開始直後に正しい湿度が表示できない場合があります	約20分たってから再度、確認してください。
	窓際など外気の影響を受けやすい場所に設置していませんか	外気の影響を受けにくい場所に設置してください。 ☞P5
「ポコ」「ポコ」音がする	タンクから給水する音です	故障ではありませんのでそのままご使用してください。

アフターサービス

保証書について

取扱説明書の裏表紙に付いています。所定事項の記入および記載内容をご確認のうえ保存してください。

保証期間はお買いあげの日より1年間です。

- 保証書の記載内容によりお買いあげの販売店が修理いたします。詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎてからの修理については、お買いあげの販売店、またはもよりの「お客さまご相談窓口」（別紙）にご相談ください。お客さまの希望により有料修理いたします。

この取扱説明書と本体に表示されている禁止事項・注意事項および通常使用に反して使用された場合の故障・事故は補償いたしません。

補修用性能部品の保有期間について

フィルター気化式加湿器の補修用性能部品の保有期間は製造打切り後、6年です。

- 補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

お客様ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

お客様ご相談窓口でお受けした、お客様のお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

〈利用目的〉

- お客様ご相談窓口でお受けした個人情報は商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機（株）および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。
  個人情報の取り扱いについての詳細は、
  ホームページ http://www.sanyo.co.jpをご覧ください。

ご相談や修理は

家電製品についての全般的なご相談　三洋電機（株）お客さまセンター

受付時間：9：00～18：30（365日）
総合相談窓口　050-3116-3434

※上記番号をご利用できない場合は
大阪（06）-6994-9570におかけください。

※郵便またはFAXでご相談される場合
三洋電機（株）お客さまセンター
〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2-5-5
FAX：大阪（06）6994-9510

修理や部品に関するご相談は、お買いあげの販売店、または別紙の **修理相談窓口** にご依頼ください。

●故障修理を依頼されるときは

次の事項をご連絡ください
①故障の状況
②品番（CFK-VW500A／CFK-VW700A）
③製造番号（本体左側面のラベルに記入してあります）
④お買いあげ年月日
⑤おなまえ、おところ、電話番号

※故障修理を依頼されるときは、加湿フィルターを取りはずしてください。取りはずした加湿フィルターは、乾燥させてから保管してください。

●お客さまメモ

アフターサービスのご連絡に便利です。

お買いあげ年月日　　　年　　月　　日
お買いあげ販売店 電話（　　）　　－
担　当

仕　様

特定地域（高地、極寒地など）では、所定の性能が確保できないことがあります。

項目			CFK-VW500A	CFK-VW700A
品番			CFK-VW500A	CFK-VW700A
使用水			水道水	水道水
製品能力	加湿量（室温20℃、湿度30%）	強運転	約500mL／h	約670mL／h
		静音運転時	約250mL／h	約300mL／h
	連続加湿時間	強運転	約9時間	約7時間
		静音運転時	約18時間	約15時間
	適用床面積（めやす）	洋室（プレハブ）	14畳（23m²）	18.5畳（31m²）
		和室（木造）	8.5畳（14m²）	11畳（18m²）
	タンク容量		約4.5L	約4.5L
電気特性	電源		単相100V　50／60Hz	単相100V　50／60Hz
	定格消費電力 50／60Hz	強運転	25／28W	37／41W
		静音運転時	12／13W	14／15W
	電源コード		1.4m	1.4m
	外形寸法（幅・奥行・高さ）		320mm・280mm・400mm	370mm・280mm・400mm
質量			5.3kg	5.7kg
別売品			加湿フィルター　CFK-F50A　2,520円（税込）	加湿フィルター　CFK-F70A　2,940円（税込）

※適用面積（めやす）は、日本電機工業会規格（JEM　1426）に基づき、プレハブ住宅洋室の場合を最大適用面積とし木造和室の場合を最小適用面積としたものです。
ただし、壁・床の材質・部屋の構造・使用暖房器具等によって適用面積は異なりますので、販売店にご相談ください。

SANYO フィルター気化式加湿器 ❈ **保証書** ❈ 　持込修理

品番 CFK-VW500A CFK-VW700A	製造番号
★お客さまお名前　　　　様	
★ご住所　〒　　　★電話番号（　　）　-	

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買いあげの日から左記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買いあげの販売店が無料修理いたしますので、商品と本保証書をご持参ご提示のうえ、お買いあげの販売店にご依頼ください。

保証期間 ※お買いあげ日　　年　　月　　日 本　体　　1年間 （加湿フィルター、エアフィルターを除く）	※取扱販売店名　　住所　　電話番号

★印、※印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 ロ. お買いあげ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
 ニ. 業務用としての使用、車両・船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
 ホ. 本書の提示がない場合。
 ヘ. 本書にお買いあげ年月日、お客さま名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 ト. 水道水以外の液体や、水道水に他の物質を添加して使用し、故障した場合。
2. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や、出張修理を行った場合の出張料はお客さまのご負担となります。
3. ご贈答品等で本書に記入してあるお買いあげの販売店に修理をご依頼になれない場合には、別紙のお客さまご相談窓口をご覧のうえ、もよりの窓口にお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買いあげの販売店または別紙のお客さまご相談窓口にお問い合わせください。
●保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、アフターサービス☞P18をご覧ください。

三洋電機株式会社　〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2丁目5番地5号
電話　大阪(06)6991-1181

愛情点検　長年ご使用の加湿器の点検を！

こんな症状はありませんか	● 水もれする ● コードやプラグが異常に熱い ● こげくさい臭いがする

使用中止	故障や事故の防止のため必ず販売店、またはもよりの「お客さまご相談窓口」（別紙）に点検をご相談ください。

三洋電機株式会社
〒370-0596　群馬県邑楽郡大泉町坂田1丁目1番1号

この商品は海外では使用できません。（FOR USE IN JAPAN ONLY）

73164120360001